

左岸地区の『復興まちづくりへの想い』について ～第1回懇談会の意見概要～

※ 第1回地区別懇談会における参加者の意見であり、決まった内容や事実確認をした内容ではありません。

項目	復興まちづくりへの思いや困り事等について
避難対策	避難場所 道路
	・どこに逃げるか？町内や家族で話し合っておく。 →避難場所を見極めること、再整理が必要。情報をどのように判断するか？ →1000年に1度の豪雨でも避難ができる場所をつくるべき。
	避難誘導 要支援者対策
福祉避難所	・今次水害では、防災無線での情報発信が遅れたのでは？ →繰り返しになっても良いので、何度もアナウンスして欲しい。いろんな形で情報発信が必要。 ・雨音でマイクの音声が聞こえなかった。 →市から防災無線戸別受信機を全世帯に配布予定（R3年度内） →近所のお互いの声のかけ合いも必要。 ・今回は水の出が早かった。油断が一番禁物。 ・今次水害によって住民の危機意識は向上した。 ・次の出水期の対応について考えておく必要がある。 ・自主防災組織と事前の話し合いが必要。 ・自主防災組織の高齢化が問題。メンバーは消防団のOBが中心。 ・西間下町では、出水期前に防災訓練を予定している。 ・早めの避難が必要。・夜間に避難が必要な場合はどうするか？
	ペットの避難
	・精神疾患の子どもがいるため、避難所に行けなかった。 →次に災害が起きたとき、同じような状況が起こっては困る。 →要配慮者へのケアをしっかりとしてほしい。精神疾患は見た目ではわからないため、周りの方に認知されにくい。 ・発災時、ペットがいるため避難しないという方がいたため、西間下町の公民館はペットの受け入れ可にして、避難を促した。 →地域で話し合い、ルールを決めておくことが必要。
生業再建・住まい再建	自主避難所
	・下戸越公民館は1m程浸水した。今後の自主避難所をどうするか、検討する必要がある。 →災害の規模で避難先をレベル分けしたいが、判断が難しい。 →民間施設との避難場所としての事前協定などもできると良い。
	住まい再建 生業再建 復興まちづくり
地域コミュニティ 地区への思い	・いつ頃、どうやって再建できるかの見通しがほしい。 ・市の方針や計画を早めに、わかりやすく住民に知らせてほしい。 ・災害公営住宅はできるのかなど、具体的な情報を教えてほしい。 ・堤防が壊れたままの状態では、不安で家を建てる計画はできない。（堤防ができれば必ずしも安全ということではないが…） →市のビジョンが見える化してほしい。
	・再建が長引くと仮設暮らしも長引く。 ・多世代同居世帯は、仮設住宅などで同じ場所に避難することが難しく、一緒に暮らすことができない。家族がばらばらになっている。 ・支え合いセンターで被災者のニーズ調査等を実施しているが、みなし仮設の方については個人情報問題で追えない部分がある。
治水	治水
・河川掘削が進んでいるが、どの程度効果があるのか知りたい。水は溢れるのか？再建しても大丈夫なのか？実際の効果に関する情報が欲しい。 ・避難の時間をかせぐため、雨が降る前にダムを水位を下げておいてもらえると良いのでは？	

◇お問い合わせ◇

人吉市役所 復興局 復興支援課
〒868-8601 熊本県人吉市下城本町 1578-1
Tel:0966-22-2111(内線：8893) Fax:0966-24-7869
E-mail:fukkousien@hitoyoshi.kumamoto.jp

これらに関する情報は、市ホームページにも掲載しています。ホームページをご覧になれない人はお問い合わせください。

地区別懇談会だより

Vol.1

左岸地区

～みんなで取り組む、人吉市の復興まちづくり～

『地区別懇談会（第1回・第2回）』を開催しました

甚大な被害や治水対策による影響が大きいなど、地区でまとまって問題解決に取り組む必要性の高い地区を「重点地区」として位置づけ、それぞれの地区ごとに「地区別懇談会」で話し合いを進めています。

左岸地区の**対象地区は、西間下町、矢黒町、下戸越町**です。

◆第1回地区別懇談会

1 復興計画、復興まちづくり計画についての説明

- ・復興計画等の概要説明
- ・重点地区の考え方と地区別懇談会の進め方
- ・これまでの校区别座談会の概要

2 地区ごとの話し合いと全体共有

- ・顔合わせ、自己紹介（想いや困り事など）
- ・次回日程や宿題、連絡体制や参加者の声かけ



4月15日（木）14時から、下戸越町公民館

◆第2回地区別懇談会

1 地区の復興まちづくりに向けての参考資料の説明

- ・前回懇談会の振り返りと情報提供
- ・治水対策とまちづくり・避難の考え方
- ・復興まちづくりに係る各種支援制度や事例の紹介

2 地区ごとの話し合いと全体共有

- ・出水期に向けた避難等のあり方
- ・復興まちづくりへの具体的な課題と方向性
- ・今後の進め方、次回日程調整、連絡体制の確認



5月10日（月）18時から、西瀬小学校体育館

懇談会の進め方について ～復興まちづくり計画の策定に向けて～

地区別懇談会での検討をもとに、具体的な復興まちづくりの取組を「復興まちづくり計画」に反映していきます。

◆地区別懇談会の参加方法

- ・対象地区にお住まいの方や勤務されている方など、どなたでも参加できます。
※可能な範囲で、継続的な話し合いに参加いただけます。
- ・参加申込は随時受け付けておりますので、本紙面末尾の復興支援課までお問合せください。
多くの方のご参加をお待ちしております。

◆地区別懇談会の進め方

- ・4～10月までの間に、概ね月1回（合計8回程度）の開催を予定しています。

次回の開催予定：**第3回 6月7日（月）18時30分より**

次回のテーマ予定：復興まちづくりの課題と方向性について

会場：西瀬小学校体育館

参加
募集中



◇復興まちづくり計画とは

- ・復興計画を実現するために取り組むべき内容を検討・整理したものです。
- ・特に被害の大きい特定地域（重点地区）などを対象に、各地域の具体的な計画づくりを行います。
- ・**住民主役の計画づくり（策定主体は主に住民）に対して、行政が支援し、計画策定をめざします。**
- ・計画期間は、令和4～9年度の概ね6年間。（令和3年度からの一部実施も想定）

※ 第2回地区別懇談会における参加者の意見であり、決まった内容や事実確認をした内容ではありません。

項 目		出水期に向けた避難等のあり方 復興まちづくりへの具体的な課題や方向性について	項 目	出水期に向けた避難等のあり方 復興まちづくりへの具体的な課題や方向性について
避難等のあり方	避難場所	・第一中学校に避難した住民が多く、駐車場もいっぱい引き返して来た方がいたため、公民館を開けた。（西間下町） ・避難場所は、指定の場所以外にも複数確保しておく必要がある。 ・新市庁舎が完成すれば、避難場所として利用したい。（西間下町） ・近隣の町内会長には、支部会議の際に、西間下町公民館に避難して構わないと伝えている。（西間下町） →隣接する町同士で連携する避難体制を構築する必要がある。 ・「桃李温泉 季の杜 石庭」は高台にあり、孤立しても食べ物や電話はあるが、浸水し始めると下の道路が通れなくなる（早めの避難が出来れば利用可）。 ・避難所へのペットの同行避難を希望する住民への対応を考える必要がある。	避難誘導 要支援者対策	・山と川に囲まれた地域のため、「早めの避難」が重要。油断してしまうことが危険。 ・従来、住民は球磨川の水位を見ながら「避難」の判断をしてきたが、今次洪水は水位が上がるスピードが経験値を上回った。 →サイレンが鳴ってからでは遅いこともある。小さなきっかけに目を配り、「空振り」覚悟で、明るく・動ける時間帯に避難することが重要。 ・矢黒では、樋門管理者が異変に気付き、町内会長に伝えてくれたことで、早い段階での避難誘導につながった。（樋門の担当職員は消防団のOBで、町内会と連絡が取れる体制がある） ・ハザードマップでは読み取れない被害の危険性がたくさんある。各町の条件に即したマップの作成や、支流の出水の状況をきめ細かくインフォメーションする機能が必要である。それに即した避難訓練も必要。 ・自助、共助（近助）の避難体制の構築が重要である。 ・緊急時、消防団や町内会役員ができることには限界がある。 ・避難中に、住民や乗り合わせた車が事故や災害（がけ崩れ他）に巻き込まれる可能性もある。 ・消防団では避難者の取りまとめを行った。当時は手当たり次第に避難誘導をするような形であった。 ・消防団の成り手が少ない。また自主防災組織のメンバーも高齢化しているため、活発化させるのが難しい。 →役員等に負担がかからない避難方法を、個々の住民・地域で考えていく必要がある。 →班などの小さな単位でまず高台に避難し、その後に避難の状況を役員に伝える形が望ましい。
	避難ルート	・矢黒町から西瀬小学校に行くルートに橋や浸水箇所、急傾斜地があり、状況によっては矢黒町から西瀬小学校に避難するのは難しい。 ・しろみずき荘の側の駐車場に車を避難させた方がいたが、その後浸水した。河川管理用道路を通れば移動することができたが、当時は通り抜けができなかった。 ・「ま心」の方に車を避難させた方は、下の道路が浸水しているためしばらく車を下ろせなかった。また、早めの避難でないと上がれなくなる。 ・町内は急傾斜地が多いので、避難するのが怖い。		
治水 土砂対策		・発災当時、胸川もいつ溢れてもおかしくない状況であった。 ・山間部（岩川内地区など）は山崩れが発生する危険性がある。		

